

6月 ランド・ジャパン通信

賃貸住宅もニューノーマル～物件選びも非対面・接触がポイント～

コロナを機に進んだのは借り手のニーズの「多様化」。4月号でご紹介した「ステイホーム」を充実させた「コンセプト賃貸」のような広さやグレードを求める層もいれば「非対面・非接触」といったコロナ対策をお部屋探しに求める方も増えてきています。今回はその「非対面・非接触」をキーワードに『賃貸住宅に求められるもの』をご紹介します。

専用スペース

★水回り★

◆タッチレス水栓
外出からの手洗い、お料理・・・菌を家に持ち込まない、広げないためにマストな設備

◆トイレ 蓋の開閉・洗浄すべてオート機能

★タッチレスキー★
端末に触れることなく操作が可能。コロナなどのウイルス感染リスクを抑えられる。ドアの種類によって設置不可なものもあるため、事前の確認が必要です。

共有スペース

★宅配ボックス★

◆宅配ボックスの設置
既に設置されている物件でも、ボックスの個数、サイズも世帯数と合っているか確認しましょう。デリバリーボックスも現在設置されている所は少ないが、コロナ禍でデリバリー利用も増え需要度はUP。

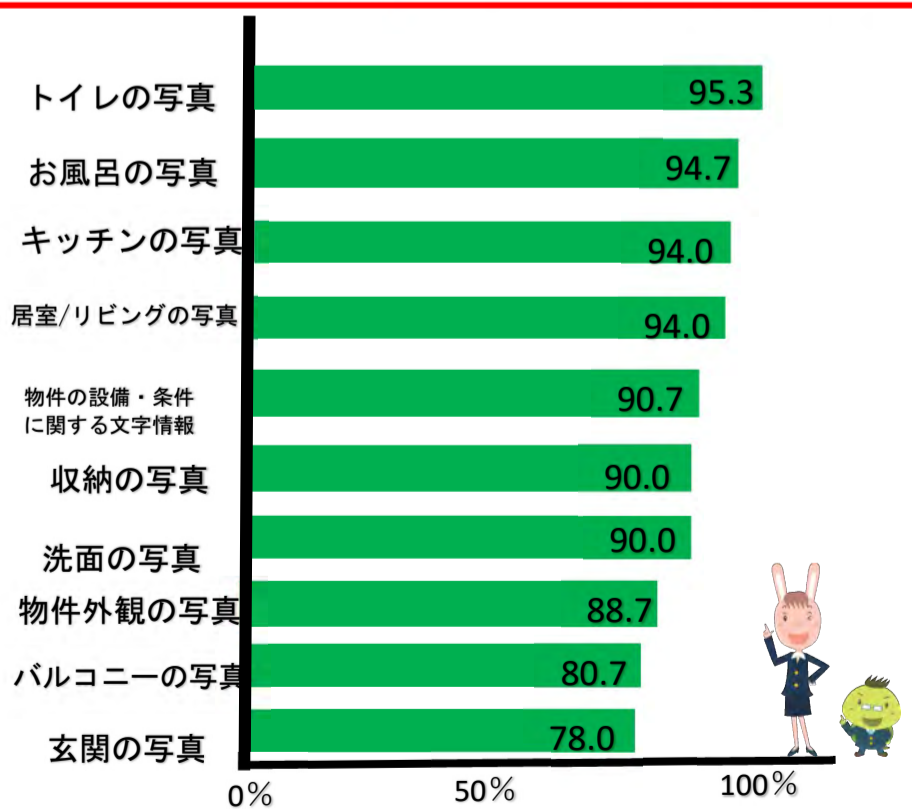
◆置き配対応
非対面で荷物を受け取れる置き配希望者が増。宅配バックのニーズ拡大。玄関ドアノブに簡易的に設置できるバッグ等が出てきている。

ポイント

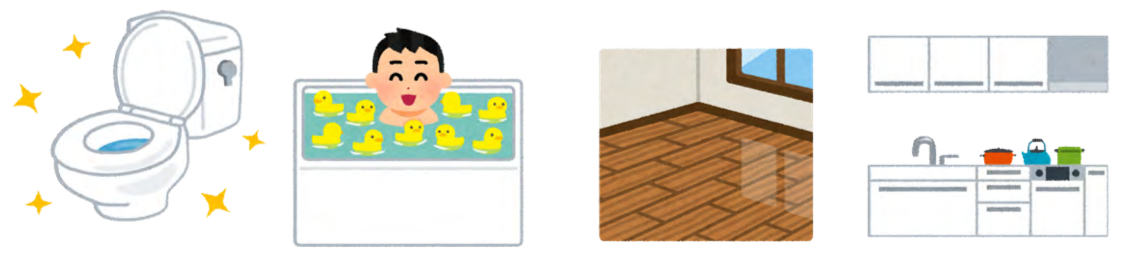
感染症対策は私達のライフスタイルに、かつてないほどの影響を与えています。それに伴い、賃貸住宅に対する需要・要望も変化していきます。今後入居率UP空室削減に向けた設備投資を行う際は、改めて『入居者様の目線』にたって検討しましょう。入居者様の不安を少しでも取り除くことが競合物件との差別化、入居率UPにつながります。

番外編

お部屋探しに変化が・・・
水回りを重点に置く物件探しが主流になりつつあります！



2020年10月に実施した「不動産情報サイト利用者アンケート調査」では、不動産サイトで物件を探す際に必要だと思う情報5位に**トイレ・バス・居室・キッチン**の写真がランクインしています。この結果より物件探しの主流に水回りも加わっていることがわかります。その背景には新型コロナウイルスにより自宅で過ごす時間が増え始め、賃貸住宅においてもバスやトイレといった空間も快適に過ごすための重要ポイントになっています。また、感染対策としても、水回りの関心が高まってきています。



梅雨の時期になりました。この時期は気温の寒暖差による体調不良にお気を付けてお過ごしください。

物件を探す際必要だと思う情報は？